



首都圏バイオネットワーク Metropolitan Bio Network Japan



首都圏のバイオベンチャー20社が集結し、
首都圏バイオブースとしてBioJapan 2009に共同出店します！

ご来場の方には、各社の特徴を分かりやすく記載した、**企業ディレクトリ**と**首都圏バイオ特製エコバッグ**を差し上げます！
多くの方のご来訪をお待ちしています！！

BioJapan 2009
World Business Forum
4大サミット(「ファーマ」「グリーン」「環境」「バイオ」「食糧」「クラスター&ベンチャー」)連日開催！
2009年 **10月7日(水) - 9日(金)**
会場 **パシフィコ横浜**

首都圏バイオブース出展企業名

小間番号 : A - 800

創薬・再生医療ゾーン (4社)	研究支援ゾーン(4社) (試薬・研究材料)	研究支援ゾーン(12社) (解析・探索・生産・試験受託・機器・装置・その他のサービス)	
		イムナス・ファーマ	グライコジーン
オンコセラピー・サイエンス	天然素材探索研究所	インシリコバイオロジー	プリベンテック
レクメド	東京未来スタイル	M C B I	マグナビート
セルシード	プロップジーン	ジャパンバイオインフォマティクス	メイズ
		スカイライト・バイオテック	メッセンジャー・スケープ
		泰榮電器	メディリッジ

お問い合わせ先 : 首都圏バイオネットワーク事務局
(財)バイオインダストリー協会(JBA) 担当 : 三村・吉田・青木 TEL:03 - 5541 - 2731 <http://www.shutoken-bio.net>

会場案内 Information



首都圏バイオネットワーク Metropolitan Bio Network Japan



産業クラスター計画
Industrial Cluster Project

出展企業名

首都圏の
バイオベンチャー
20社が大集結！

創業 再生医療 ゾーン	・イムナス・ファーマ
	・オンコセラピー・サイエンス
	・レクメド
	・セルシード
(研究支援ゾーン 試薬・研究材料)	・グライコジーン
	・天然素材探索研究所
	・プロップジーン
	・東京未来スタイル
(解析・探索・生産 試験受託・機器・装置 その他のサービス) 研究支援ゾーン	・iGENE
	・インシリコバイオロジー
	・MCBI
	・ジャパンバイオインフォマティクス
	・スカイライト・バイオテック
	・泰榮電器
	・POCクリニカルリサーチ
	・プリベンテック
	・マグナビート
	・メイズ
	・メッセンジャー・スケープ
・メディリッジ	
事務局：(財)バイオインダストリー協会(JBA)	

小間番号：A-800

泰榮電器	ジャパンバイオインフォマティクス	事務局 information	マグナビート	プリベンテック
------	------------------	-----------------	--------	---------

←

案内板

産総研ブース

←

セルシード	iGENE
オンコセラピー・サイエンス	メイズ
イムナス・ファーマ	メッセンジャー・スケープ
レクメド	POCクリニカルリサーチ

しずおか拠点

ちば拠点

横浜拠点

つくば拠点

モニター

案内板

案内板

⇒

ホール出入口側

⇒



首都圏バイオネットワーク

Metropolitan Bio Network Japan



BioJapan 2009

World Business Forum

4大サミット「ファーマ」「グリーン」「医療」「バイオ」「食糧」「クラスター&ベンチャー」連日開催!

2009年 **10月7日(水)** - **9日(金)**

会場 **パシフィコ横浜**

ブースのご案内 小間番号: A - 800

出展者

首都圏バイオネットワーク

首都圏バイオネットワーク(事務局:(財)バイオインダストリー協会(JBA))

「首都圏バイオネットワーク」(事務局:財団法人バイオインダストリー協会)は、国内バイオ産業の発展を目的に、東京を中心とする首都圏エリアのバイオベンチャー支援のプラットフォームとして、経済産業省と連携の上、2002年よりバイオクラスターを形成しています。

現在、バイオベンチャーの他、大手企業や研究機関等計440社が参画し、バイオベンチャーと大手企業とのアライアンス促進、展示会等を活用した販路開拓、国際展開支援、事業の進捗ステージに合わせた個別研究会の創設、IPOや円滑な資金調達のためのセミナー開催など幅広い支援を行っています。

バイオベンチャーを始め、国内外の多くの大手企業や研究機関、公的機関、金融関係機関等との連携を強力に推進し、新たなイノベーション創出をお手伝いします。多くの関係者の参画を心よりお待ちしております!

協力機関

【つくば拠点】Bio Tsukuba

(事務局:株式会社つくば研究支援センター)

【ちば拠点】ちばバイオベンチャーネットワーク

(事務局:財団法人千葉県産業振興センター)

【横浜・神奈川拠点】横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク

(事務局:財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)

【しずおか富士山麓拠点】富士山麓ファルマバレーバイオネットワーク

(事務局:財団法人しずおか産業創造機構 ファルマバレーセンター)

創薬・再生医療ゾーン(4社)

・イムナス・ファーマ株式会社 (神奈川県川崎市)

平均寿命の延長と共にアルツハイマー病(AD)の患者数が増加し、世界的に社会問題となっているが、未だADの根本的な治療薬は存在しない。現在、ADの根本的な治療薬の候補として、発症原因物質 アミロイドβ(Aβ)をターゲットとした抗体療法が注目を集め、各国に於いて抗体医薬品開発が行われている。

しかし、これら開発中の医薬品においては、期待されていたより治療効果が弱く、副作用が報告されている。Aβにはモノマー、オリゴマー、線維の3形態が存在しており、その中でAβオリゴマーがAD病態の主要因子であることが明らかとなりつつあり、原因として、開発中のこれら抗体がAβオリゴマーだけではなく他の2形態にも結合する可能性が考えられている。

このような背景のもと、弊社はAβオリゴマーと特異的に結合する抗体医薬を作製すれば有効性および安全性ともに高いAD治療薬になると考え、Aβオリゴマーと特異的に結合する抗Aβオリゴマー抗体の作製を進めている。BioJapan2009では、新規に取得した約100個のAβオリゴマーに特異性の高い抗体の中から一部を選抜して行ったin vitro, in vivo実験の結果を報告する。

・オンコセラピー・サイエンス株式会社 (神奈川県川崎市)

オンコセラピー・サイエンス(OTS)では、東京大学医科学研究所と共同で、様々なヒト腫瘍の網羅的な遺伝子発現解析を行っています。さらに、これらの発現情報を基に、自社独自の基準で抗癌剤開発のための分子標的候補遺伝子や、癌診断用マーカーとなる遺伝子の選択を行いました。そしてこれらの候補遺伝子の機能解析を通じて、真に創薬・診断薬のターゲットとなり得る分子群を同定致しました。これらの分子に関して、自社にて抗癌剤開発のための研究を行うと共に、ペプチドワクチン、抗体医薬、低分子医薬、およびRNAiに代表される核酸医薬など、開発する医薬品に応じて積極的に成果の導出を行い、製薬企業との共同開発を積極的に進めることにより、よりスピーディーに治療薬を開発することを目指しております。中でもペプチドワクチンを用いたがんワクチン療法は、最近、再び注目され、新たながん治療法として大きな期待感が出てきています。

展示では、OTSが積極的に臨床開発を行っているがんワクチン療法を中心におこないます。癌特異的な遺伝子からの新規分子と腫瘍新生血管を標的としたがんワクチン療法について、最近のトピックスも交えて紹介します。

・株式会社レクメド (東京都町田市)

“人々に求められる医薬”をモットーに、パイオビズ・ナビゲーター(TM)と言う統一したコンセプトの下、以下3部門での事業を展開しています。

- (1)海外ベンチャー企業と共に医薬品の開発事業
- (2)クライアントに対する研究開発や事業開発もしくは提携の支援等のコンサルティングサービス
- (3)ライフサイエンス投資事業組合を通してパイオベンチャーへの投資と育成

このうち、医薬品開発事業において、ドイツbene社と共同開発を行い、昨年旭化成ファーマとライセンス契約を締結しました変形性膝関節症の薬剤、ポリ硫酸ペンタサン・ナトリウムの第2相臨床試験が旭化成により準備中です。

また、米国PsychoGenics社と共同開発を行っている注意欠陥多動症の薬剤「エルトブラジン」のPOC試験が米国で終了、日本人でのPK試験を本年3月に終了しました。

「エルトブラジン」の追加適応として、統合失調症の認知機能の改善効果、パーキンソン病におけるジスキネジアの改善効果を確認し、どちらもPOC臨床試験を計画中です。

現在、「エルトブラジン」でのパートナーを探しています。

・株式会社セルシード (東京都新宿区)

・UpCell(細胞シート回収用温度応答性細胞培養器材)

トリプシンなどタンパク質分解酵素を用いることなく、温度制御により培養表面の性質を疎水性から親水性に変化させることで、培養細胞を傷めずシート状に回収できます。

・RepCell(細胞回収用温度応答性細胞培養器材)

UpCell表面に「グリッド・ウォール」を3mm間隔で配置。これにより無傷なシングルセル/コロニーの回収が容易になり、フローサイトメトリー解析に用いる細胞の回収器材として最適です。マクロファージ、破骨細胞などの回収に最適です。

・HydroCell(超低付着性細胞培養器材)

独自のナノ表面技術を応用し、超親水性ポリマーを培養器材表面に固定しました。

細胞が全く付着しない為、ES細胞の胚様体形成やスフェロイド形成などの用途に最適です。

研究支援ゾーン(4社)(試薬・研究材料)

・株式会社グライコジーン (茨城県つくば市)

(株)グライコジーンは、(独)産総研・糖鎖工学研究センターでのヒト糖転移酵素の研究及び糖鎖解析や糖鎖合成技術などの糖鎖研究の基幹技術を元に事業を行ってきている。これまでに糖転移酵素を利用して様々な糖鎖及び糖ペプチドの合成を行い提供してきた。最近、糖転移酵素を用いて直接タンパク質に糖鎖を導入出来ることを見出し、糖鎖改変技術としてサービスを開始した。

近年、糖タンパク質の糖鎖を人為的に改変する技術が注目されており、生理活性を高めたり、体内での安定性を高めたバイオ医薬品の開発が注目されている。糖鎖改変技術は、今後のバイオ医薬品開発において重要な技術と考えられており、特にバイオシミラーの開発においては、糖鎖の微細構造の管理は重要で、糖転移酵素を用いたin vitroでの糖鎖修飾技術は有用であり、今後のバイオ医薬品開発に多大な貢献を果たすものと確信している。今回、我々が行ってきた以下のタンパク質への糖鎖導入例を紹介しながら今後の糖転移酵素の利用の可能性を紹介する。

糖タンパク質糖鎖の改変技術

- (1)タンパク質(糖タンパク質)への糖鎖の付加改変
- (2)糖タンパク質特定部位糖鎖の除去改変
- (3)特殊構造を持つ糖鎖の導入

・株式会社天然素材探索研究所 (東京都渋谷区)

1) 医薬品・機能性食品の受託試験事業

新規開発においては、商品の有効性を迅速かつ的確に証明することが重要と思われれます。そこで、弊社では今までの実績により培った技術・知識をもとにお客様に合った実験プランをご提案します。また、既存の商品についても新たな価値を付けるべく、新機能検索のプランもご提案させていただきます。すべての試験におきまして、フレキシブルに対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

2) 小動物用床敷材「パルマス」の販売事業

小動物用床敷材「パルマス」は化学物質を含まない天然素材から製造され、その特殊な構造上、粉塵・アンモニア臭の軽減、実験動物のストレス解消等の特徴があります。既存の床敷材と比較して動物の飼育環境を長期間清浄に保てます。また、飼育管理作業の軽減、廃棄物の削減による諸費用の節減にも効果的な商品です。試用サンプルもご用意しております。是非一度お試しください。

・株式会社東京未来スタイル (茨城県つくば市)

弊社は、感染症分野の専門商社として、さまざまな商品、サービスを取りそろえ、お客様の研究開発・製造における様々なご要望にお応えしたいと考えています。

出展予定品目:

【輸入製品】 SPEED-OLIGO (Vircell) -微生物検出用迅速オリゴクロマトグラフィー検査キット(PCR用)、 PCR コントロール (Vircell) -凍結乾燥品(約60種類以上)、各種感染症関連研究用キット(迅速キット、ELISAキット、IFAキット、PCRキット等)、感染症抗原各種

【受託サービス】 臨床検体(ヒト由来血清・血漿・組織)検索・調達サービス 感染症関連疾病、各種癌関連から正常検体まで、お客様各々の具体的なご要望にきめ細かく対応いたします。、受託免疫(抗体作製)、動物モデル試験受託、DNA/RNA受託作製(200bps - 2000bpsの遺伝子の合成が可能です。)、各種感染症関連抗原・抗体の調達/受託製造(バルク対応可)、受託有機合成

その他弊社の商社機能を活かし、弊社のグローバルネットワークより、さまざまなお客様の御要望に対応いたしております。

・株式会社プロップジーン (東京都小金井市)

弊社は遺伝子検査を中心にした以下の事業を推進しています。

1. 試薬製品販売

・結核菌・抗酸菌遺伝子検査キット、・食中毒菌遺伝子検査キット、・動物腫瘍タンパク検査試薬キット

2. 検査受託

・食中毒菌検査、・歯周病菌検査、・ヒト体質診断検査、・祖先解析、・菌種の分類、系統解析

3. 教育調査事業

・セミナー、実習の開催、委託調査事業

・ジャパンバイオインフォマティクス株式会社（東京都渋谷区）

Simbiotは、公開ソフトウェアやカスタムベ - スの分析法などの最新情報を取り込むことで、最先端のアルゴリズムや解析法を利用しながら、とても簡単にライフサイエンスの関連データを処理・解析することができるシステムです。また、インターネット上で、共同研究者との情報共有や管理、解析がスムーズに行えるようにサポート致します。究極の個人情報である医療情報をも確実にガードする高度なセキュリティ技術によりアクセス制限も設けていますので、全データを機密情報として取り扱えます。主な機能としてデータマネジメント、データ解析、コラボレーションリサーチ、ディストリビューション、MIAME準拠を具備しています。

・セールスポイント

1. Simbiotは、バイオモレキュラーデータの管理と解析をするためのマウスベースの簡便なインタフェースを提供します。コラボレーションリサーチ、データディストリビューション、教育、コミュニティの構築を支援します。
2. Simbiotは、cDNAマイクロアレイ、exonアレイ、RNAシーケンス、マススペクトメトリー並びにSNPs、ハイスピードシーケンサーなどのゲノム配列及び遺伝子発現データから臨床情報までをサポートします。
3. Simbiotは、研究受託サ - ビスの企業にも、最適なシステムとしてご利用できます。

・株式会社スカイライト・バイオテック（東京都中央区）

1) 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) の鑑別診断マーカー

血液検査により低侵襲・簡便・安価にNASHの進行度を判定する、新しいマーカーの開発状況を紹介致します。非飲酒者の脂肪肝(NAFLD)は良性的疾患として放置されがちですが、その約10~20%は、肝硬変や肝臓癌へと進行する予後不良な脂肪性肝炎 - NASH - の病態を示すことが知られています。NASHと予後良好な脂肪肝との鑑別は、侵襲性が極めて高い肝生検に頼らざるを得ないのが現状です。

弊社は、横浜市立大学との共同研究により、NASHの病態進展の度合いに伴い、血液中の脂質プロファイルならびにコリン濃度が変化することを発見し、NASH鑑別診断マーカーとして開発を進めております。

2) 脂質プロファイリング解析サービス

ゲルろ過HPLCを応用し、超微量検体から、リポタンパク質粒子サイズに基づく血中脂質の詳細データを解析するサービス「LipoSEARCH」を紹介致します。

サービス開始後5年を経過し、本手法による脂質プロファイリングデータをご活用いただいた学術論文・学会発表が、国内外で100件を超えました。生活習慣病関連の基礎研究や薬剤・機能性食品の研究開発をされている、大学・企業の研究者の皆様へ、豊富な活用事例を紹介致します。

・泰榮電器株式会社（茨城県笠間市）

・顕微鏡ステージ用インキュベータ「Onpu-4&CO2」

哺乳類生細胞の経時観察には必須の装置です。

(a)温度変化に敏感な生細胞の観察に最適です。培養液温度精度 ± 1

(b)5%CO2により培養液pHを保持するため、長時間の連続観察ができます。

(c)培養液乾燥防止にはミネラルオイルを重層。

本装置の温度制御方法は特許第4116780号として登録されました。

・低酸素雰囲気発生装置「OXYPASS」

窒素ボンベ無しで酸素濃度1~10%の雰囲気を生じます。

(a)Onpu-4&CO2と組み合わせることで、37 或いは39 に保持しながら、5%O2&5%CO2雰囲気での経時観察が容易に行えます。(例、マウス、ブタ、ウシなどの受精卵)

(b)圧縮空気から中空糸フィルタで窒素を濃縮します。

(c)ガルバニ電池式酸素濃度計を用いて一定の酸素濃度に制御します。

・POCクリニカルリサーチ株式会社（東京都世田谷区）

- 1.以下)~)の自社ならではの支援i-CRO(提案交渉する欧米型受託開発サービス)を提供
 -)FDA申請用資料(プロトコル等)の作成支援を行い米国での早期治験実施に貢献し、治験開始後には社内IRB委員として試験に参加
 -)先端バイオ技術の医薬品開発におけるデータマネージメント業務支援として、研究医師と共同で症例報告書を作成し、症例報告書記載時のサポート、データベース作成、データベース運用、評価委員会や総括報告書で用いる帳票の作成等を支援
 -)遺伝子治療の治験においてのGCP監査を支援(治験開始時のシステム監査、治験実施中のシステム監査・社内監査・外部監査(委託業務監査)、治験終了後監査の社内監査)
- 2.その他、他のCROにない、非臨床から臨床への橋渡しのコンサルテーションも得意としています。first human trial実現に向けた非臨床試験ストラテジーの構築、得られた結果より臨床試験プロトコル作成のマネジメント、プロトコルの審査・評価委員会のフォローまで、お客様のニーズに合わせて経験豊富なコンサルタントがご対応いたします。

・株式会社プリベンテック（茨城県つくば市）

プリベンテック社は、遺伝子組換えによるイネ種子内高タンパク質発現系を用い、有用タンパク質の開発を行うバイオベンチャー企業です。組換えタンパク質の植物生産法は安全性や生産コストの面から大きな期待が寄せられています。毎日食べているお米には有害な物質は含まれていません。細菌の毒素であるエンドトキシンの混入もありません。お米で生産するタンパク質は安全ですので経口投与型医薬品、化粧品、食品添加剤、細胞培養液添加剤、研究試薬などの利用が考えられます。組換えイネを用いたタンパク質の製造法と製品開発の展示を行います。

・マグナビート株式会社（千葉県市原市）

「Therma-Max」は、生体物質の分離・精製・濃縮用途に開発された粒径がおよそ100ナノメートルの磁性ナノ粒子です。懸濁液の温度を変化させるだけで可逆的に分散、凝集する機能と粒径が小さいことから、短時間かつ高収率に抗体やタンパク質の精製を行えます。したがって、免疫診断や環境ホルモン検査、ゲノム創薬開発におけるタンパク質の少量多検体処理など幅広い応用が可能です。

(使用用途例)

モノクローナル抗体の作製のバイオプロセスは、通常、哺乳類細胞の浮遊系培養方法が用いられている。その抗体精製は、アフィニティークロマトグラフィーが用いられているが、複雑な操作ステップが課題であった。サーマ・マックスを抗体精製に応用することで簡便な操作が可能となり、大幅な操作時間の短縮となります。

・株式会社メイズ（東京都渋谷区）

弊社は、お客様のトランスクリプトーム/プロテオーム研究などで生み出された膨大で多様性に富むデータの整理や意味づけに役立つ商品やサービスをご提供しています。

--見どころ--

「AnnotationCollector」は、遺伝子・蛋白質のアノテーション情報を公共DBから一気に収集・一覧表示するソフトウェアです。「トランスクリプトームやプロテオームなど網羅解析の結果へのアノテーションを簡単に素早く収集するツールはないの?」このような研究者の声から生まれました。

クエリー数が多いと、たいへんな検索の繰り返し作業となりますが、これを簡単に一気にこなせます。また、検索結果を見やすく一覧表示しますので、アノテーションをまとめる煩雑な作業はいりません。

次世代シーケンサのデータ解析支援サービス

ゲノム構造変異部位、ChIP-Seq、メチレーション、トランスクリプトーム、メタゲノムなどのソリューション及びコンピュータシステムの選定を含むコンサルティングサービスをご提案します。

・メッセンジャー・スケープ株式会社（東京都渋谷区）

・「HiCEP法による遺伝子発現受託解析サービス」

HiCEP法はAFLP法をベースにした高精度な網羅的発現解析技術です。核酸ハイブリダイゼーションに基づく手法に比べ、検出・測定能力が優れており、解析に遺伝子配列情報を必要としないことから、配列情報の蓄積が少ないが、応用上重要な生物の研究に多く使用されております。展示では、これらの特徴を具体的な解析事例を使ってご紹介いたします。

・「診断マーカー探索・販売」

HiCEPは、その優れた測定精度によって、信頼性の高い診断マーカー候補を短期間に低コストで提供できます。アルツハイマー病、乳がん転移性等の疾患マーカー探索例をご紹介いたします。

・メディリッジ株式会社（東京都台東区）

これまでのバイオや臨床・創薬研究の研究成果を医療へ結び付ける橋渡しの役割を果たしたいと思い2009年2月に創業いたしました。

当社は、受託サービスとコンサルティングサービスの2本を主な事業として位置づけています。

受託サービスでは、様々な受託サービス会社と業務提携をして、お客様により良いご提案ができるように心がけています。主な内容は、従来型の研究支援助託サービスをはじめ、DNAワクチン等の研究開発のための治験用のGMP準拠のプラスミドや組み換えたんぱく質の製造受託サービスを実施しております。その他、様々なニーズに応じてコーディネートを実施いたします。

受託サービスのコンシェルジュとしてお気軽にお声をお掛けください。

・コンサルティングサービスでは、国内外のメーカーを対象に実施しております。

1. 診断薬・医療機器の研究開発・薬事申請に関するご相談

新たに日本進出をお考えの海外の診断薬メーカー、異分野進出を考えておられる国内メーカー様からのご相談をお待ちしています。

2. 製造・研究支援助託サービス会社のシステムづくりなどに関するコンサルティング

3. 特許調査、特許申請（技術士・弁理士と提携）英文報告書も作成可能です。

4. その他

BioJapan 2009

World Business Forum

4大サミット(「ファーマ」、「グリーン」、「バイオ」、「食糧」、「クラスター&ベンチャー」)連日開催!

2009年 **10**月**7**日(水) - **9**日(金)

会場 **パシフィコ横浜**



首都圏バイオネットワーク
Metropolitan Bio Network Japan

ブースのご案内 小間番号:A - 800

多くの方のご来場を 心からお待ちしております！！

【無料入場できるDMをお配りしておりますのでご希望の方は首都圏
バイオネットワーク事務局までお問い合わせ下さい】

お問い合わせ先:首都圏バイオネットワーク事務局

(財)バイオインダストリー協会(JBA) 担当:三村・吉田・青木

TEL: 03 - 5541 - 2731

